

令和3年度 年間指導計画および評価計画 中野区立第2中学校 家庭科2年

		時 数	指 導 要 領	○学習目標・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
A 1. 自 分の成長と 家族・家庭 生活	①今の自分 とこれまで	1	A(1) ア	○自分の成長と家族や地域の人び とのかかわりと自分自身の理解 を深める。 ・教科書の例を参考に支えてくれ た人を思い出す。	・自分の成長と家族や家庭生活と の関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能につ いて理解している。	・家族とのかかわりについて問題 を見いだして課題を設定してい る。	・家族とのかかわりについて、課 題の解決に主体的に取り組もうと している。 ・家族とのかかわりについて、課 題解決に向けた一連の活動を振り 返って改善しようとしている。
	②わたしの 生活と家 族・家庭	1	A(1) ア	○家庭での活動を考え、家族・家 庭の基本的な機能について理解す る。 ・中学生のいる世帯の1日の生活 時間のデータから、家庭の機能を 支える家庭の仕事を誰が担ってい るかに気づき、自分ができること を考える。	・家族や地域の人々と協力・協働 して家庭生活を営む必要があるこ とに気付いている。		・よりよい家庭生活の実現に向け て、家庭生活について工夫し創造 し、実践しようとしている。
	③家庭を支 える社会		A(1) ア	○自分や家族の生活は家庭内や家 庭外の活動が支えていることに気 づく。 ・小学校での学習を思い出し、家 庭の働きと、それを支える活動に ついて考える。			

	④中学生にとっての家族	2	A(3) アイ	○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 ・ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	・家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
B 食生活 1. 食事の役割と食習慣	①食事の役割	1	B(1) ア	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。 ・「わたしの興味・関心」で自分の食生活をふり返りながら、食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて、グループで話し合う。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	②健康によい食習慣	1	B(1) ア	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2. 中学生に必要な栄養を満たす	①中学生の発達と必要な栄養	1	B(2)	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

す食事			アイ	・ 食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し、その理由を考える。			
	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	2	B(2)	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。	・ 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。		
			アイ	・ 五大栄養素の種類について確認する。			
				・ 食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。			
③栄養バランスを目で見て判断	1	B(2)	○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。	・ 中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・ 中学生の1日分の献立について解決策を構想している。		
			アイ	○1回の食事を目で見ても栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。			
				・ 「生活にいかそう」にとりくみ、1回の食事の栄養バランスを判断できる。			・ よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3. さまざまな食品とその選択	食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存	1	B(3) アイ	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ・生鮮食品の特徴と表示内容、保存方法を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②加工食品の選択	1	B(3) アイ	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ・加工食品の特徴と表示内容などを知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。		・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	③食品の安全と情報	2	B(3) アイ	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。 ・食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	

4. 日常食の調理	①調理の計画	2	B(3)	<p>○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。</p> <p>アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 <p>○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合だしをつくるなどの体験を通して、おいしさと調理の関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②おいしさと調理						
	③ますます好きになる肉の調理	2	B(3)	<p>○肉の特徴や調理上の取り扱いがわかり、肉を調理することができる。</p> <p>アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

	④こんなに おいしい魚 の調理	2	B(3) アイ	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
	⑤好きになる野菜の調理	2	B(3) アイ	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・野菜の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、野菜の調理をする。	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
5. 地域の食文化	地域の食文化	3	B(3) アイ	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・地域や季節の食材について調べる。 ・だしを使った和食の実習を通して、郷土料理や行事食のよさについて気づく。 ・「生活にいかそう」で、地域の野菜を使った手打ちうどん（あるいは郷土料理）づくりにとりくむ。 ※生活の課題と実践につなげて もよい。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

<p>生活の課題と実践</p>	<p>生活の課題と実践</p>	<p>4</p>	<p>A(4) ○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 B(7) ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。 ・これまでの学習を振り返り、改善点や課題はないか生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。 ・グループで発表し合い、計画を見直す。 ・各自で実践したことをまとめ、発表する。</p>		<p>・自分や家族の食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	<p>・自分や家族の食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>6. 献立づくり</p>	<p>1日分の献立</p>	<p>3</p>	<p>B(2) アイ ○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。 ・自分の「朝食」「昼食」の献立を立て、1日に必要な栄養を満たす「夕食」の献立を考えて、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。</p>	<p>・1日分の献立を作成する方法について理解している。</p>	<p>・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	<p>・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

7. 持続可能な食生活	持続可能な食生活をめざして	1	B(1) C(2)	<p>○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</p> <p>(2)(3) ・食品ロス、食料自給率など食生活のさまざまな問題を把握し、持続可能な食生活を送るためにできることを考える。</p>		<p>・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。</p>	<p>・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
C1家庭生活と消費	①消費生活のしくみ	1	C(1) アイ	<p>○物資とサービスの特徴がわかる。</p> <p>○消費生活のしくみがわかる。</p> <p>・「わたしの興味関心」で自分の生活をふり返りながら、消費生活・環境に関する考えを深める。</p> <p>・自分の生活を支えているものについてあげる。</p>	<p>・物資・サービスについて理解している。</p>	<p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。</p>	<p>・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
	②家庭生活における収入と支出	1	C(1) アイ	<p>○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。</p> <p>・優先順位を考え、自分にとっての計画的な金銭管理とは、どのようなことかを考え、まとめる。</p> <p>・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。</p>	<p>・計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p>	<p>・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。</p>	

2 購入・支払いと生活情報	①いろいろな購入方法	1	C(1) アイ	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・店舗販売と無店舗販売（通信販売）の長所と短所について話し合い、発表する。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②購入前に知っておくこと	1	C(1) アイ	○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・契約の意味やルールをワークシートにまとめる。	・売買契約の仕組みについて理解している。		
	③いろいろな支払い方法	1	C(1) アイ	○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・三者間取引の仕組みや、キャッシュレス化の影響について理解する。	・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
	④情報を活用した上手な購入	1	C(1) アイ	○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ・商品を購入するときは、情報を集めること、価格だけではなく、品質、表示やマーク、環境などを検討し選択することを考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	

3 消費者被害と消費者の自立	①なくならない消費者被害	1	C(1)	○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			アイ	・教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り、自分の経験を発表する。			
	②消費者を支えるもの	1	C(1)	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。		・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			アイ	・消費者を支える機関や法律の必要性を知る。			
3 消費者の権利と責任	③消費者の権利と責任	1	C(1)	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	
			アイ	・消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。			
4 持続可能な社会	①消費行動が社会に与える影響	1	C(2)	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

			アイ	・自分たちができるエシカル消費について考える。			巡りめぐらしたことで、土曜と土夫し創造し、実践しようとしている。
--	--	--	----	-------------------------	--	--	----------------------------------